

広島県聴覚障害者センターだより



Hiroshima Chokaku Center

広島県聴覚障害者センター

〒734-0007 広島市南区皆実町1丁目6-29

電話：082-254-0085

FAX：082-254-0087

E-mail minami@hiro-chokaku.jp

URL hiro-chokaku.jp

No.8 2018(平成30)年2月1日発行 (毎月1日発行)



「見守り」「見守られる」こと



2011年の秋に見たテレビ番組が何故か今も記憶に残っています。

バラエティー番組で、以下のような内容でした。

徳島市のカフェに70歳以上の高齢者の方々が続々集合してきます。高齢者の方々はスマートフォンを一斉に操作し、お互いに新しいアプリを紹介しあったりしていました。参加していた男性は、地図上で仮想の四国八十八箇所巡りをする「歩き遍路」をオススメのアプリとして紹介しています。このグループは総勢30人の「見守られ隊」という集団で、「スマートフォンを使って高齢者が元気かどうか確認する」目的で結成されました。専用の掲示板で状況をつぶやくこともでき、地元の「見守り隊」に所属する若者達がそれに答えてくれるそうです。

過疎を逆手にとったような取り組みと、スマホとの組み合わせにインパクトがありました。

あれから、6年、便利なアプリも増えました。

先日、センターにJAF(一般社団法人日本自動車連盟)の方がお見えになりました。センターのHPを見て来られたようです。新しい救援アプリ「JAFを呼ぶ」が夏にリリースされたそうで、その周知のために来館されました。必要ならば、アプリの学習会を開催したいとも言われました。

このアプリは、①スマホ画面をタッチして質問に答えていくだけで簡単にロードサービスが呼べる。②末端のGPS機能を利用し、現在地を特定。③急行中のサービスカーの現在地が地図上で確認できる。④写真を送信できるので、より詳しい状況の確認が可能⑤補足などはコールセンターとチャットすることも可能。といった優れたものです。

電話のできない聴覚障害者に便利な機能です。

前述の「見守られ隊」「見守り隊」ではないのですが、センターではこうしたアプリを含む便利なものの紹介を行っていきます。皆様の要望があれば、こうしたアプリの学習会、更に広く交通安全教室等の開催も考えます。皆様、関係者の皆様、地域の人たちと共に「見守り」「見守られ」、聞こえない人のためのセンターを作っていきたいと思えます。(松岡)

